農林水産業費

質疑　資源リサイクル畜産環境整備事業の内容を伺いたい。

答弁　この事業は、堆肥の貯蔵施設、堆肥の運搬機、堆肥舎、堆肥等の発酵撹拌機等の施設を整備するもの。実施年度は十七年度から十八年度で、今年度は二事業主体が予定している。なおこの事業の実施主体は県の青い森農林振興公社である。

質疑　旧十和田湖町の町営大幌内牧場は、合併によってその委託、業務内容等はどのようになるのか。

答弁　委託期間は、四月一日から十月三十一日までで肥料の散布、乾燥の調整、人工受精など一般の牧場管理に準じたものを委託する予定である。十七年度については、いままで大幌内を利用している方で希望があれば従前どおり利用していただくこととしている。

商工費

質疑　観光基本計画の取り組みについて伺いたい。

答弁　新十和田市は観光資源評価において特A級の十和田湖、奥入瀬、八甲田山という国立公園を擁する市ということで、祭り感動、遊び感動、食べる感動、見る感動、憩う感動という五つの感動のある観光計画づくりに、策定委員会あるいはコンサルタント等への委託によって取り組んでいきたい。十七年度をもって調査、策定する予定である。

質疑　十和田湖商工会と十和田商工会議所に補助金を出しているが、今後どのように進めていくのか。

答弁　現在、商工会議所法と商工会法の法的な整備がなされておらず、合併する場合は商工会が解散し財産を処分して商工会議所と合併しなければならないため、様々な問題がある。

　現段階では、合併は非常に難しいことから、会議所と商工会では連携して、一緒にやれるものはやっていくことにしている。

　合併については、国の法改正あるいは全国の動向をみながら適切に対応していきたい。

質疑　十和田湖水質浄化事業について伺いたい。

答弁　十和田湖の水質改善や環境の保全等の推進を図るため、十和田湖水質改善協議会が行う事業であり、内容は、EM菌活用による湖水浄化事業、二つ目には排水改善に関する啓発及び啓蒙活動、三つ目には研修会の実施、四つ目にはその他目的達成に必要な事項に関する助成事業である。

5月5日 子供たちで賑う駒っこランド

土木費

質疑　公園施設造成工事の内容を伺いたい。

答弁　高森山総合運動公園の造成工事の費用で、多目的広場、パークゴルフ場、サッカー場、ラグビー場を計画している。

質疑　市営住宅の入居率は百%であり、待機者も相当数あると聞くが、今後の見通しを伺いたい。

答弁　旧十和田湖町の住宅マスタープランができていないため、十七年度に作成し、旧十和田市のマスタープランと合わせ、改めて住宅マスタープランを作成し、進めていきたい。

教育費

質疑　高度へき地修学旅行費とは、どういうものか。

答弁　これは、旧十和田湖町の十和田湖小学校と十和田湖中学校がへき地三級地以上の学校にあたり、この学校の修学旅行費は国庫補助金によりほぼ全額補助されるものである。十七年度は十和田湖中学校の二、三年生が、十八年度は十和田湖小学校の五、六年生が予定している。

質疑　中学校海外派遣の派遣先の予定地を伺いたい。

答弁　十七年度は、旧十和田市が派遣先としていたカナダのレスブリッジ市、十八年度は旧十和田湖町のオーストラリアを予定している。

討論

　定例会の最終日において平成十七年度一般会計予算に対して討論がありました。（要旨）

反対

▼この予算を見ると、市民税の減少など市経済にとって深刻な事態にあるなか、野外芸術文化ゾーンは、立案した趣旨に中心市街地の空洞化の対策とあるが、官庁街通りから商店街へ向かう人はほとんどなく、この趣旨が成り立たないのではないか。

　一方、小、中学校の教具あるいは図書などの購入費が削られ、子宝祝金の縮小、お年寄りの祝金の廃止はいかがなものか。

　緊急にやらなければならない問題として、中央病院の産婦人科医を始めとする医師確保は、不退転の決意で当たらなければならないのではないか。

　市民のために今やらなければならないことが後回しにされて、やらなくてもいいものに目を奪われているのではないか。

　現実を直視して、市民の切実な願いをしっかりと受け止めてほしいと切に願うものであり、この予算案に反対する。

賛成

▼国庫補助金及び地方交付税の見直し並びに県の補助金の廃止・削減など一般財源の確保が非常に厳しい状況にありながら、歳出全般について徹底した経費の削減と事務事業の合理化・効率化を図るとともに、健全な財政運営を確保している。

　旧市町を結ぶ生活道路の整備、深持小学校建設事業、中央病院建設事業の実施、中心市街地活性化事業への支援、十和田湖冬物語への支援など、感動創造都市を目指す新市のまちづくりの五つの柱に沿って多様な施策が盛り込まれており、合併初年度の予算でありながら、旧市町の連携の強化と地域振興を図るために、総額八億六千万円ほどを計上しているなど、厳しい財政事情にありながら新市の将来像を見据えた予算であると高く評価するものである。